

国外実態調査報告書

ゼミ名 : 木立 真直ゼミ
訪問先 : オーストラリア三菱商事会社—Mitsubishi Australia Ltd.—
訪問日時 : 2019年9月6日(金)15:30~17:00
ご対応者 : 友田 啓介 様、RAN WU 様
訪問人数 : 学生 17名 教員 1名 計 18名

【調査目的】

オーストラリアにおける大手総合商社の事業展開やその戦略について学ぶ。

【調査結果】

はじめにラン様より、三菱商事のオーストラリアにおける取り組みについて解説していただいたのち、質疑応答にて友田様とラン様にご自身の業務内容や経験のお話をいただいた。

事業内容としてお伺いした内容は以下の通りである。オーストラリアでは、金属資源、天然ガス、食品・コンシューマー産業、石油化学・総合素材、電力・インフラ・都市開発・機械など大きく分けて 5 つの分野で事業を展開しており、金属資源事業では事業投資先の Mitsubishi Development(MDP)を通じて、主に製鉄用の原料として使用される原料炭の生産及びトレーディングを行っており、天然ガス事業では、カタールを抜き世界の LNG 輸出国になると予測されているオーストラリアにおいて LNG 事業を推進している。自動車関連では、事業投資先である Isuzu UTE Australia において、タイで生産されたいすゞ製ピックアップトラック及び SUV を輸入し、オーストラリア国内で販売している。オーストラリアでは週末や長期休暇にボートやキャンピングカーを車の後ろに牽引して出かけることが一般的で、高出力の車を好むという特徴がある。そのため日本で主に販売されている普通乗用車ではなく、ピックアップトラックを乗用車型にしたユート(UTE)や SUV など、馬力のある車が好まれる。

また、現在では新たなビジネスとしてインフラ事業にも注目している。オーストラリアでは近年の積極的な移民の受け入れにより、人口増加した都市部の地価が高騰し、郊外への需要が高まっており、それに伴い多くのインフラプロジェクトが計画されている。三菱商事は 2019 年の 4 月にキャンベラで開業した LRT 事業にも参加している。今後の事業展開として鉄道だけでなく複合都市開発などのビジネスチャンスも検討していくと伺った。

終わりに、学生からの質問にご回答いただいたのち、友田様、ラン様より海外での働き方を含めた今後活かせるアドバイスをいただいた。日本経済は海外との関わりが非常に深く、海外との関係はこれまで以上に重要になるため、留学、旅行などを通して海外に興味を

持つことや、ニュースを鵜呑みにせずに物事を自分で考えることが大切だと伺った。特に、新たな技術革新により、あらゆる業態が変化する中で常に世界の変化を意識しつつ先を見て学び続けることや、視野を広げてビジネスの種を見逃さないようにすることが大事だというお話が印象的であった。

最後になりますが、今回私たちの訪問を受け入れてくださり、貴重なお時間を割いていただいた友田様、ラン様に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



(オーストラリア三菱商事メルボルン本店にて)



(質疑応答にて)

(文責：西内 悠太、向島 彩夏、伊藤 なな子、上垣 亮太、酒匂 景佑)